

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

学校名	伊万里市立山代東小学校
-----	-------------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

<p>1 前年度 評価結果の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目については各担当者を中心に取り組むことができた。しかし、項目も様々であるため、担当者だけの取組になってしまうこともあるので、学校全体で取り組めるように担当者が具体的方策を継続的に提案していく必要がある。 ・学力向上に関しては、授業改善に取り組んでおり、それぞれの職員が「まずはやってみよう」という意欲をもって取り組んでいるところがよかった。校内研を中心として継続して取り組んでいきたい。 ・挨拶に関しては、昨年度から課題が見られるため、もっと児童の主体的な取組を増やして自分事として意識させていきたい。 ・3年後の閉校・統合を見据えた取り組みを学校運営にも取り込んでいかなければならない。山代西小学校とも連携を密にしていく必要がある。 	
--------------------------	--	--

2 学校教育目標	「笑顔で 元気な 東っ子」の育成
----------	------------------

3 本年度の重点目標	① 「進んで学習」・・・夢や志をもって学ぶ子 自ら関わり、考え、判断・行動し、成長に気づく子 ② 「自分も友達も大切に」・・・自他や郷土のよさを知り大切にするとともに相手を思いやり、ともに生きようとする子 ③ 「心と体をきたえ 何事にもチャレンジ」・・・健やかな心を体もち、前向きに何事にも挑戦する子	
------------	--	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		主な担当者			
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価				学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○子ども自らが「学ぶ」授業への転換	○45分の授業において子どもの活動時間を50%確保することができる教師が100% ○毎時間のめあてを児童が分かりやすい言葉で提示し90%以上の児童に達成させる。	・校内研究と関連付け、授業研以外でも相互参観週間を年2回計画し授業改善を図る。 ・「学び合い」に関する先進校視察と講師を招聘しての研修会を実施する。 ・児童に分かりやすいめあての立て方についての研修を行う。		・		・		・	学び部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分も友達も大切にできた」と答える児童の割合を85%以上にする。 ○いのちの大切さについて自分の言葉で説明することができる児童が80%以上	・「自分も友達も大切にすること」ということはいかに考えるかを授業で実施し、お互いの思いを伝え合わせたり感想を提示したりする。 ・いのちの大切さを考える授業実践を年に2回以上実施する。		・		・		・	こころ部	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○困ったときに、「自分から誰かに相談することができた」と回答する児童の割合が80%以上	・「心のアンケート」を毎月実施する。「教育相談週間」「いじめ体罰アンケート」とも併せて、児童のSOSを早期に発見し、全職員で対応する。 ・「SOSの出し方教育」を全学年で実施する。		・		・		・	教育相談担当	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答する児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をする児童生徒80%以上	・係活動、委員会活動などのなかで児童の主体的な活動を推進する。児童のがんばりやよい行いなどを紹介するコーナーを設置し、職員や児童でカードを記入し、紹介をする。 ・年間指導計画をもとに地域の企業や学校サポーターを活用し、各学年で外部講師を招いた学習を年1回以上計画する。		・		・		・	こころ部 学び部	
	○「伊万里つ子しぐさ」を活用した心の教育の推進	○児童が進んで挨拶をしていると回答する保護者や教職員の割合が80%以上	・ボランティア委員会に「あいさつ運動」の取組を提案させる。学期に1回程度全校で実施し、学校だよりや学級通信で取組を紹介する。 ・「あいさつ上手」を紹介する場を設定し、放送などで全校に知らせる。		・		・		・	こころ部	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「山代っ子ウィーク」での取り組みを実施する家庭(児童)の割合が85%以上 「山代っ子の約束」を知っていると回答する児童の割合が80%以上	・委員会の児童に「山代っ子の約束」の中から毎月の重点項目を決めさせる。「山代っ子ウィーク」にチャレンジカードを使って自分の生活を振り返らせる。 ・「山代っ子ウィーク」の取り組み状況についてHPや学校だよりを通じて保護者に知らせる。		・		・		・	からだチャレンジ部	
	○運動に親しむ児童の育成	○週に2日以上外で遊ぶ児童の割合が80%以上	・委員会の児童が考えた外遊びを紹介するコーナーを設置する。また、ベア学級で遊ぶ日を学期に2回以上設定する。 ・年間を通してスポーツチャレンジを実施する。毎月の結果を全校に放送で知らせ意欲付けを行う。		・		・		・	からだチャレンジ部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・校時表や行事の見直しを、年間に3つ以上実施する。 ・退勤時刻を自己申告させ、業務の見直しをもたせる。		・		・		・	管理職・教務・事務職員	
	○働き方に関する教職員の意識改革と実践	○自らの働き方に関して、改善したと答える職員が90%以上	・学期に1回アンケートをとり、自身の業務の課題に気づかせ、改善点を考えさせる。 ・年に2回働き方についての研修会を実施し、実践化を図る。		・		・		・		
●特別支援教育の充実	○個に応じた指導体制の充実 ○特別支援教育の推進	○校内の指導体制の見える化を図り、特別支援教育が充実していると答える職員が80%以上	・校内指導体制の組織図を作成する。 ・個別の支援計画・指導計画の作成に関する研修、児童理解と支援の方法の研修を実施し、職員の共通理解とスキル向上を図る。		・		・		・	特別支援教育	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者	
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○全児童の学びと育ちの保障	○全ての子どもの学びを引き出す学習環境の工夫	○学びやすさを保障するために、①指示の出し方を工夫する②指示や発言内容を視覚化する③板書の情報を精選する④教室環境づくりができる教職員が100%	・学期末ごとに教職員に達成度調査を実施する。 ・①と②については、校内研の事後研で協議の視点として話し合う。 ・UDについての研修を行う。		・		・		・	学び部	
○地域連携教育の推進	○コミュニティスクールの活動の推進・深化	○各サポーターの活動として、2つ以上実施する。 ○年間3回以上コミュニティスクールだよりを発行し、保護者や地域の人と情報を共有する。	・年間計画の見直しと、児童からの感謝の気持ちを伝える場を設定する。 ・コミュニティスクールの取り組みをHPや学校だよりで紹介し、理解を深める。		・		・		・	管理職・教務主任	
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育											
5 総合評価・次年度への展望											